

NGO間の連携網を

サハリン大震災で総括

協力した日本サハリン同胞
交流協会、チャーター便を
一析機や薬品を提供したメー

サハリン大震災の救援活動に参加したアジア医師連絡協議会（AMDA）本部（岡山市、菅波茂代表）と、その活動を支援した民間グループの代表らが二十七日、東京・永田町の憲政記念館で「サハリン大震災総括フォーラム」を開き、NGO（非政府組織）間の連携網を早期に確立することなどを決めた。

フォーラムには、AMDAをはじめ、阪神大震災地元NGO救援連絡会議、立正佼成会や外務、建設、郵政省、民間企業の代表約五十人が参加。

サハリンで緊急支援活動を行ったAMDAの現地報告の後、通訳や入国の面で



緊急救援NGO
サハリン大震災総括フォーラム
アジア・太平洋緊急救援ネットワークをのぞいて
平成7年6月27日
主催：AMDA（アジア医師連絡協議会）
共催：72時間ネットワーク
東神大震災地元NGO救援連絡会議

AMDAなどが開いたサハリン大震災総括フォーラム（東京・永田町の憲政記念館）

カーなどが、支援にいたるまでの苦労話を披露。現地を訪れたAMDAの鎌田裕十朗医師が「サハリンの在留邦人から『みなさんが来てくれ、日本人であることに誇りを感じる』と言われ、胸を打たれた。顔の見える国際貢献を今後も続けていきたい」と総括した。

最後に、菅波代表が「今回の経験を生かし、緊急時

にNGOが連携できる組織を早急につくりたい」と提言。AMDAを中心に、災害から三日間（七十二時間）以内に緊急援助を実践するための「72時間ネットワーク」を十月までに設置し、同月、国際的なNGOを集めた「アジア太平洋緊急救援フォーラム」を日本で開く計画を報告、了承された。

東京駅の大規模改修工事を進めているJR東日本は二十七日、現在の中央線ホームの斜めに新設した高架式の中央線ホームを公開した。新しいホームは地上からの高さ十五メートル、長さは現在のホームより二十七メートル長い二百五十七メートル。来月二日から使用を開始する。